

第4回 ヘルスケアイノベーションコース オフィシャルミーティング 「イノベーション興すRequirements」開催報告

開催日時：2023年3月18日(土)10:30～(受付10:00～)

開催場所：ちより街テラス3F 第1・2会議室(〒781-0806 高知県高知市知寄町2丁目1-37)

開催形式：ハイブリッド形式(参集+オンライン同期型+期間限定見逃配信)

参加費：無料

主催：高知大学医学部 連繋医工学分野

当日参加数：94名(現地参加65名、オンライン参加29名)

後日配信希望数：42名(当日参加を除く)

開催概要

このミーティングは、高知大学大学院総合人間自然科学研究科修士課程医科学専攻に2021年4月に新たに開設したヘルスケアイノベーションコースのPRと成果報告を目的として年2回実施している。第1回は、2021年7月3日にスタンフォード大学のバイオデザインで著名な池野文昭先生に基調講演をしていただいた他、高知県立大学、高知工科大学、高知県医療政策部、高知県医師会、ベンチャー起業から講師をお招きしてシンポジウムを開催した(オーテピアの予定だったが、コロナ感染急拡大のため急遽大学からのオンライン配信となった)。第2回は2022年3月12日に本学にて実施し、岡山大学医学部の成瀬恵治教授に基調講演をしていただいた他、高知工業高等専門学校教員および本学教員による講演、また、成果報告としてコース1年生(1期生)の発表を行なった。第3回は2022年7月16日に本学にて実施し、キヤノン株式会社、GEヘルスケア・ジャパン、株式会社ミツカリから講師をお招きして講演していただいた他、本学教員およびコース1年生(2期生)による講演を行った。

今回の第4回は、コース1期生が修了する記念すべき回ということで、初めて学外の会場で開催し、これまで午後の部だけであったものを、午前の部と午後の部に分けて実施した。午前の部ではコース修了学生の研究成果報告を2件、また新年度の履修証明プログラム受講生による1件の講演を行った。昼はランチョン形式で、本コースの講義も担当していただいているGEヘルスケア・ジャパン株式会社政策推進本部長の大竹正規様に講演していただいた。とくに、研究開発から事業化への死の谷という観点からその解決法を考える上で、本コースのどの科目がそれぞれに対応していくのかという本質な課題を投げかけていただいた。午後の部の最初の基調講演では、内閣府地方創生推進事務局 審議官・内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 審議官の西條正明様に講演していただき、デジタル田園都市国家構想の本質についてご説明いただいた。その後のシンポジウムでは、文部科学省医学教育課企画官 堀岡伸彦様からは、冒頭で博士取得率の世界の動向、とくに日本と中国の比較についてご説明いただいた後、どういった観点で官僚のプレゼンテーションを見なければならないのかなど、その本質的な部分について大変興味深いお話をしていただいた。高知県産業振興推進部 産学官民連携課課長 片岡千保様からは、昨年8月に発足した高知県ヘルスケアイノベーション推進協議会など、本学医学部との連携について

ご説明いただいた。最後にシンポジウムの締めくくりとして本学医学部連繫医工学分野 渡橋和政教授より講演していただいた。今回は事前に各機関への呼びかけを積極的に行い、当日は以下の写真のように、満席の状態であった。今回は、内閣府、文科省、高知県庁、室戸市役所、県内病院関係、ヘルスケア関連企業、高知銀行、四国銀行、県内高等教育機関、高知大学などの関係機関からも多数参加いただいた。



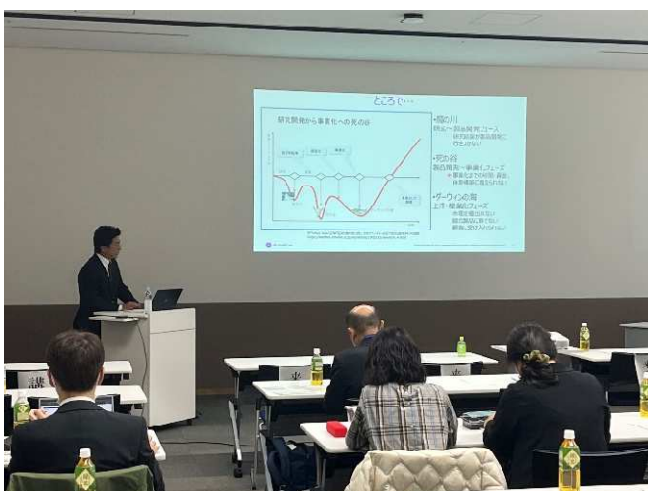
基調講演(内閣府 西條様)



シンポジウム(文部科学省 堀岡様)



シンポジウム(高知県庁 片岡様)



企業講演(GEヘルスケア・ジャパン(株) 大竹様)



Opening Remarks(高知大・連携医工学 渡橋教授)